

健康新聞

Apr. 2004

autumn

自分がよく映える側面づくり

映画はエネルギーを 与えてくれる

ラブストーリーリーの映画「天国の本屋*恋火」が注目を浴びている。オーケストラをリストラされた男性ピアニスト。ヤケ酒を飲んでいると、知らぬ間に天国に連れていかれ、本屋の店員として働くことに。そこで、幼い頃に憧れた女性ピアニストと運命的な出会いが。二人は情熱を傾けて作曲し、ピアノ組曲を完成した。店長の英断によって、「恋する花火」が夜空で花開くとき、天国と地上で「永遠」の調べが同時に流れ出す・・・。

美しい映像に加え、ユーマン(松任谷由美)の音楽がとて魅力的。あたかも天国にいるかのような感動的な結末で、涙が溢れてしまうのに、ほのぼのと心が暖かくなり、生きていくエネルギーを与えてくれる映画だった。

さて、ここで、映画の「映」と英断の「英」について。両者に含まれる「央」という文字。「央」には美しく、盛んなものという意味がある。美しい花を「英」といい、日に照りはえて、照り返す光に明るくうつしだされることを「映」という。そういうえば、私が大好きな演劇で、よく主役を務める「大地真央」さんのお名前も、雰囲気にとびつたりだ。

花火は一瞬で消えてしまふから美しく、人の心を引きつける。逆に、夜空に花火が何時間も留まっていたら、ちよつと不気味?!音楽は瞬間の芸術であり、後で聴くというわけにはいかない。だから、一瞬の音の波動が人の心を揺り動かす。同じように、私たちの人生も限りあるものだからこそ、有意義で素晴らしいものと言え。

ところで、現代社会に生きる私たちは、誰もが仕事や家庭、対人関係などで悩む。降りかかるストレスは避けられない。最近では、心の風邪とされるうつ病も増えつつある。心が疲れたり、気分が落ち込むときもあるだろう。そんな場合、安易ですぐに良くなるような特效薬はないものだ。くよくよせず、映画をみたり、好みの音楽を聴いたりしてみるのが、まずお勧め。そして、自分という「花」が一番よく映える側面(長所や特質)を捜しながら、できることから少しずつやってみよう。まず一歩、次に、また一歩と。

音楽は人の心を揺り動かす

漢字の話は、さておき。私たちは、花火をみると楽しく感じる。華麗な打ち上



板東 浩氏
糖尿病専門医、
ピアニスト、スピードス
ケーター

からだに良い習慣、悪い習慣

医者いらず健康法